

新任ご挨拶

新所長 就任のご挨拶

■所長 神田 康弘

新しい業務体制が始まっています

本年4月に岡山県聴覚障害者センター所長に着任いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

皆さまにおかれましては、日頃から聴覚障害者センターの業務運営に関しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

聴覚障害者センターは、岡山県が岡山県聴覚障害者福祉協会を指定管理者として指定し、聴覚障害者情報提供施設として、手話通訳者等の養成・派遣、聴覚障害者の相談・支援、文化活動等の援助、研修室及び会議室の提供等の管理運営を行っており、聴覚障害者をはじめ支援者や多くの県民の方々にご利用いただいております。

施設の利用状況をご覧ください

聴覚障害者センターが設置されているきらめきプラザには、数多くの福祉関係団体等が入居していますが、年間の来所者の状況を見ると、それらの団体等のなかでも当センターへの来所者数はかなり多い団体のひとつとなっています。

当センターの業務のうち、研修室及び会議室の利用状況についてみると、土曜日、日曜日に多くの予約が集中する状況である反面、休館日である火曜日を除くウィークデーの予約は、比較的余裕が見受けられます。

このような状況のなかで、多くの方にバランスよく利用していただくためには、可能な限り、予約を確保しやすいウィークデーにシフトした利用が望まれるところです。研修、会議等の日程の設定に当たっては、皆様方のご理解とご協力をいただきたいと思います。

デフリンピックキャラバンに合わせた事業を展開

さて、今年は、聴覚に障害のあるアスリートにとって国際的なスポーツ大会である東京2025デフリンピック

が、令和7年(2025年)11月15日から12日間にわたり東京体育館ほか18会場で開催されます。この大会は、1924年パリで初めて開催され、100周年記念大会になるとされています。

郷土勢では走高跳の佐藤秀祐選手、400mハードルの石本龍一朗選手、バドミントンの片山結愛選手が内定しています。

東京2025デフリンピックの認知度向上や気運の醸成等を行うため、一般財団法人全日本ろうあ連盟主催により全国キャラバン活動が展開されます。

全国キャラバン活動のうち、岡山県で実施されるキャラバン活動に合わせて、令和7年8月27日(水)に真庭市役所で電話リレーサービス・ヨメテル体験登録会を開催する予定です。聴覚障害者のコミュニケーションツールとして、電話リレーサービス等を多くの方々に体験していただき、日々の生活でのご活用をお願いいたします。

文化の香りを満喫しましょう

また、当センターの事業のうち文化的事業として、毎年、文化や歴史の専門家をお招きし、岡山の魅力再発見をテーマとして、文化講演会を開催しています。

今年は、令和7年9月6日(土)に、きらめきプラザにおいて、岡山県立記録資料館館長をお迎えしてご講演をいただくこととしております。

詳細につきましては、今後、当センターホームページ等でお知らせいたしますので、多くの県民の方にご参加くださいますようお願いいたします。

当センターでは、これらの事業のほか、様々な事業活動を展開しており、皆様方と連携を図りながら、聴覚障害者の福祉の増進に努めてまいりますので、さらなるご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



研修会のご報告

1. 難聴者にとっての要約筆記とは 要約筆記者現任研修会 (聴覚障害者関係研修事業)



5月10日(土) きらめきプラザ401会議室で、要約筆記者を対象とした研修会を開催し、64人の参加がありました。

一般財団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会副理事長・要約筆記部長の宇田川芳江氏をお迎えし、「難聴者にとっての要約筆記・要約筆記者」というテーマで講演いただきました。はじめに要約筆記奉仕員から要約筆記者への制度の変更、養成カリ

キュラムの変遷など歴史を振り返りました。また、音声認識と要約筆記の違いや、全文入力を求める難聴者のこと、二人書きや連携入力など、要約筆記者にとって関心の高い最近の状況についてお話がありました。次に、現場で起こりうる5つの事例について検討しました。講師の当事者からの視点は、難聴者が直面する心理的側面を理解する上で大変参考になりました。最後に紹介された「バイスティックの7原則」は、支援者として遵守すべき基本姿勢が示され、対人援助を行う上で常に心に留めておきたい内容でした。

2. 誰のための支援か 手話通訳者現任研修会 (聴覚障害者関係研修事業)

6月22日(日)、きらめきプラザ301会議室で、手話通訳者を対象とした研修会を開催し、81人の参加がありました。

午前の講演では、岡山障害者職業センター所長羽原洋陽氏をお迎えし、「岡山障害者職業センターの就労支援業務」と題してご講演をいただきました。これまであまりなかった“労働”をテーマに取り上げ、参加された皆さんは熱心に講演を聞かれました。

午後は、病院や消費生活センターの場面通訳と通訳後のバウンダリーについてロールプレイを行い、グループ内で意見交換をしました。最後に講師から、技術を身につけることだけではなく、ろう者との信頼関係が大事。また、ろう者の背景を知ること大切とお話がありました。



要約筆記ちょこっと体験会を開催しました

イベントのご報告



5月18日(日) 聴覚障害者センター研修室で要約筆記ちょこっと体験会を開催し、スタッフを含め33人の参加がありました。体験会では要約筆記や難聴者について知ってもらい、実際に手書きとパソコン両方の体験をしてもらいました。体験会は毎年5月に開催し、参加した半数以上の方が6月に始まる要約筆記者養成講座への受講につながっています。要約筆記を知ってもらおう貴重な機会として今後も続けてまいります。

学校教育との連携

6月25日(水)・26日(木)の2日間、岡山聾学校中学部2年生の生徒2人が職場体験学習に訪れました。職員がセンターの役割や施設の説明をしたのち、実際に仕事を体験してもらいました。封筒にラベルや切手をはりゴム印を押したり、ライブラリーのポップを作ったりしました。「みんながきらめく手話の会」へ参加し、ろう者から岡山空襲の体験談を聞きました。また、のびのびこどもひろばの準備として、ゲームで使用する遊び道具を作ったり、大きなブルーシートを広げて会場の配置を考えたりしました。2人とも熱心に仕事に取り組んでいました。



イベント お知らせ 参加費無料

主催・申込み・問合せ 岡山県聴覚障害者センター

FAX 086-224-0236 電話 086-224-0221 E-mail okaty@kirameki-plz.com

いずれも手話通訳・要約筆記つき。参加費は無料です。悪天候等の状況により中止又は延期となる場合がありますので、センターのHPをご覧ください。



1 夏休み特別企画 のびのびこどもひろば

聴覚障害のある子もない子も一緒に楽しもう！今回はお花の寄せ植え体験をします。自分だけのオリジナル寄せ植えを作ってみよう！

- 日 時：令和7年8月2日（土）13:30～15:30
- 場 所：岡山県聴覚障害者センター
- 内 容：みんなでゲーム、お花の寄せ植え体験、かき氷
- 申込み：保護者氏名、電話番号、お子さんのお名前・ふりがな・学年をご記入のうえ FAX 又はメールで聴覚障害者センターへお申し込みください。



2 電話リレーサービス & ヨメテル 体験登録会

電話リレーサービスに加え、新サービスのヨメテル（相手の声が読める電話）の仕組みや利用方法などを説明します。本登録会では、その場で電話リレーやヨメテルの登録ができます。

- 日 時：令和7年8月27日（水）13:30～15:10
- 場 所：久世保健福祉会館 2階研修室（真庭市久世 2928番地）
- 対象者：どなたでも参加できます
- 申込み：「氏名、住所、FAX番号、電話リレーサービス・ヨメテル利用登録会 参加希望」をご記入のうえ、FAX 又はメールで聴覚障害者センターへお申し込みください。
- その他：【主催】聴覚障害者センター 【協力・画像提供】一般財団法人日本財団電話リレーサービス

3 文化講演会 戦後80年の今、資料と写真に見る戦時中の暮らし

終戦80年を迎え、後世に戦争の記憶を伝える戦争体験者の声や生活を語り継ぐことが難しくなっています。戦時中と戦後の写真や文字資料から、制限や不安な当時の暮らしのようすをうかがいながら、戦争のない生活のありがたさを考えてみます。

- 日 時：令和7年9月6日（土）14:00～15:30
- 場 所：きらめきプラザ 4階401会議室
- 対象者：どなたでも参加できます
- 申込み：「氏名、連絡先（FAX 又は電話番号）文化講演会参加希望」をご記入のうえ、FAX 又はメールで聴覚障害者センターへお申し込みください。

4 災害救援専門ボランティア研修会 能登半島地震における聴覚障害者の現状と支援から学ぶ

令和6年能登半島地震に際し、支援にあたってこられた石川県聴覚障害者協会の藤平氏をお迎えし、聴覚障害者の現状や支援についてご講演いただきます。

- 日 時：令和7年9月20日（土）13:00～16:00
- 場 所：きらめきプラザ 4階401会議室
- 内 容：①講演 講師：全日本ろうあ連盟理事 藤平淳一氏
②遠隔通訳の実施訓練
- 対象者：登録手話通訳者、登録要約筆記者、聴覚障害者、聴覚障害者の福祉や防災に関心のある方



新着ビデオ 字幕入り DVD が入荷しました。ぜひご覧ください。

- 「ちびまる子ちゃん」フジテレビ
 - ◆まる子、バーゲンの広告につられるの巻 まる子の涼しい大作戦の巻 まる子のおむすびころりんの巻
 - ◆放送 1500 回記念!5 月のさくらももこ原作まつり まるちゃんお誕生会をひらくの巻 ほか
- みんなの手話（2024 年度放送分）NHK
- ドラマ「デフ・ヴォイス法廷の手話通訳士」【手話版】 NHK
 - ◆前編「記憶の中の少女」
 - ◆後編「もうひとつの家族」
- 「手話恐竜図鑑」聴力障害者情報文化センター
- 「悩みを抱えた人を身近で支援する存在～ゲートキーパーの心得～」聴力障害者情報文化センター
- 「超多様性トークショー！なれそめ 幸せを見つけた！聞こえない彼&聞こえる彼女」NHK
- 「きょうの健康 豊かな人生の処方せん 男性にも知ってほしい！更年期のこと」NHK
- 「首都圏ネットワーク 埼玉発!芸術が街を変える社会とつながる 伝えたい！手話演劇の魅力」NHK
- 「ナンブンノイチ」NHK
 - ◆85 分の 1 のヒトって？手話通訳士
 - ◆23 分の 1 のヒトって？生活拠点がいくつもある人



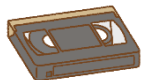
【まよなるほど!】

今回のテーマ 「ビデオテープ、消滅の危機」

センターのライブラリー室には 1,000 本以上のビデオテープが所蔵されています。このビデオテープが永久に視聴できなくなる危機に直面しています。ユネスコなどが 2019 年 7 月に、磁気テープの音声や映像は 2025 年までにデジタル化しないとアクセスできなくなる可能性が高いと警告しました。これは 2025 年には再生デッキの修理や生産は全て終わっているため、ビデオテープなどが見られなくなる前に、デジタル保存を促すものです。一方、ビデオテープの寿命も約 20~30 年とされています。岡山県立図書館では、教養や芸術、郷土資料などの

ビデオテープ約 2000 本を、残すものと残さないものに仕分けした上でデジタル化を進めているそうです。この取組は重要だと思います。センターライブラリー室には 1990 年代のビデオテープもあり、まさに寿命を迎えつつあります。これらの貴重な映像をデジタル化したいものの、著作権法の制約で難しいのが現状です。

ご家庭に思い出のビデオテープなどをお持ちの方は、大切な記憶を失わないよう、早めに DVD 化するなどデジタル保存をお勧めします。



編集後記

デフリンピックの開幕が近づいてきました。各地では様々なイベントが企画され、ボランティア活動をしたり、応援メッセージを送ったりと盛り上がりを見せています。現地へ行き、迫力ある競技の数々を観戦される方もいるのではないのでしょうか。現地で選手を応援する人も、遠くから応援する人も『サインエール』でアスリートに思いを届けましょう。聞こえる・聞こえないにかかわらず、目で伝わる応援の『サインエール』は日本の手話をベースに作られています。「GO! (行け!)」「You can do it! (大丈夫 勝つ!)」「Grab the Medal! (日本 メダルをつかみ取れ!)」動画配信もされていますので、みんなで覚えてデフリンピックを更に盛り上げたいですね。デフアスリートのみなさん、頑張ってください! 応援しています!

開館カレンダー

- ◆開館日 月・水~金曜日 9時~19時 土・日曜日 9時~17時
- ◆閉館日 毎週火曜日、国民の祝日、火曜日が祝日の場合その翌日も休館、年末年始

	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5
7月	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		

	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
8月	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						

	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6
9月	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30				